

9 用語解説等

※1) リサイクル率

ある特定区域内における「資源化量÷ごみ発生量」のことです。

※2) 一般廃棄物

廃棄物の処理及び清掃に関する法律において、産業廃棄物以外の廃棄物のことを指します。家庭から排出されるものの他、事業活動により排出される廃棄物も含まれます。

※3) 市民インタビューやアンケート

今回、計画を策定するにあたり、市民のごみ減量化に対する意識や排出実態等を把握するため、インタビュー調査とアンケート調査を実施しました（インタビュー数310人・アンケート回答者数68人）。

調査結果の詳細は【資料3】市民意識調査をご覧ください。

※4) 3R（3アール）

3Rは、リデュース（Reduce）、リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）の3つの英語の頭文字を表し、その意味は次のとおりです。

・リデュース（廃棄物等の発生抑制）

生産時の天然資源の投入量抑制や過剰な消費・使用の回避など廃棄物の発生自体を抑制すること。

例[1]：必要ない物は買わない、もらわない

例[2]：買い物にはマイバッグを持参する

・リユース（廃棄物等の再使用）

いったん使用された製品、部品、容器等の形状を維持したまま再び使用すること。

例[1]：詰め替え用の製品を選ぶ

例[2]：いらなくなった物を譲り合う

・リサイクル（廃棄物等の再生利用）

再使用ができずにまたは再使用された後に廃棄されたものでも、再生資源として再生使用すること

例[1]：ごみを正しく分別する

例[2]：ごみを再生して作られた製品を利用する

※5) 雑がみ

家庭で排出される古紙のうち、新聞、雑誌、ダンボール及び飲料用パック等の区分に入らず、一定規格以上の大きさとリサイクルができるものです。

※6) グリーン購入

製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。

グリーン購入は、消費生活など購入者自身の活動を環境にやさしいものにするだけでなく、供給側の企業に環境負荷の少ない製品の開発を促すことで、経済活動全体を変えていく可能性を持っています。

※7) ドギーバッグ

主にアメリカの外食産業で用いられる、客が食べ残した料理（いわゆる「食べ残し」）をつめて客が持ち帰るための袋や容器のことです。

ドギーバッグは、レストラン等で食べ残した料理を自宅で飼っている犬に食べさせるという名目で、客自身が自宅で食べるために客が自己責任で食べ残しを持ち帰るために用いられる、袋等の容器の総称です。

※8) オープンデータ

機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータであり、人手を多くかけずにデータの二次利用を可能とするものです。

本市では、多方面での情報の活用を推進し、地域の活性化に寄与するため、ウェブサイトで開催する公共データのオープン化を推進しています。

※9) 廃棄物処理運営審議会

本市における廃棄物処理行政の適正かつ円滑な運営を図るための第三者機関です。条例に基づき設置され、審議会は、市長の諮問に応じ、廃棄物処理に関する重要事項について調査審議します。委員は10人以内で、任期は2年です。